

# 児童福祉司 (3～4年目)

## 日程

【第1回】1月14日(金)、20日(木)  
【第2回】2月9日(水)、15日(火)

**対象** 児童福祉司3～4年目(※)の職員、児童心理司、一時保護所職員、その他子ども家庭福祉行政に携わる職員(心理職を含む)【第1回 定員30名】【第2回 定員32名】

※子ども家庭支援センター等における相談援助業務の経験がある場合は、児童福祉司としての経験年数に加算することができる。

(特別区児童相談所設置後間もないため、経験年数・職種にかかわらず受講対象としています。)

**ねらい** 児童福祉司(3～4年目職員)として求められる専門的な知識・スキルを身につけ、的確な調査・アセスメントを通じた相談援助、他職種・他機関との連携に基づく調整、支援、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。

**場所** 特別区職員研修所(千代田区神田相生町1番地 秋葉原センタープレイスビル4～6階)

**カリキュラム** \*受講申込は、「第1回のみ」「第2回のみ」「第1回・第2回」のいずれも可能です。

第1回		第2回	
1月	教科目・講師名(敬称略)	2月	教科目・講師名(敬称略)
14日 (金)	9:00～17:00 <b>CARE™</b> (ペアレンティング・プログラム)(講義・演習)  ◆CARE™とは? アメリカ・シンシナティ子ども病院で開発された、 <b>大人と子どもがより良い関係を築くための養育の技術</b> です。 子ども虐待対応においては、 <b>保護者に子どもとの適切な関わり方を学んでいただく際に活用できます。</b>  オガタ心理臨床サービス  代表 緒方 広海  横浜市南児童相談所  職員	9日 (水)	各日 9:00～17:00 <b>親子関係再構築支援(講義・演習)</b>  立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科  准教授 鈴木 浩之  虐待対応の現場では、子どもの命と安全を守るための危機介入と、子どもが再び安心して家族の元に戻る家族再統合への配慮の二つを「 <b>調和的</b> 」に実現していくことが求められています。そのためには保護者が自らの課題に直面し、 <b>家族自身が主体的に子どもの安全を構築していくことが不可欠</b> です。これを実現させるために、解決志向アプローチをベースにした肯定的な親子への対応について演習を交えて学びます。講師の鈴木准教授は「子ども虐待対応における保護者との協働関係の構築 一家族と支援者へのインタビューから学ぶ実践モデル」(単著)、「子ども虐待対応におけるサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ実践ガイド:子どもの安全(セーフティ)を家族とつくる道すじ」(共著)等があります。
20日 (木)	9:00～17:00 <b>解決志向アプローチ(講義・演習)</b>  原宿カウンセリングセンター  所長 田中 ひな子	15日 (火)	※本教科目は、いずれかの機会に解決志向アプローチについて学んだことがある方、または理解されていることを前提に講義が進められます。
計2日間(14時間)		計2日間(14時間)	